

その面倒なパッチパネルの配線変更、 ロボットにやってもらいませんか？

光配線切替ロボット ROME500



ROME (Robotic Optical Management Engine) は、機器間の配線切替をロボットによる光ケーブルのつなぎ替えで実現した L 1 スイッチです。

ラボ内のトポロジ変更、データセンタ内の配線切替などのスマートな運用が可能になります。

この配線を切り替えた
の誰？

抜去するケーブルを
間違えた!!



このケーブル
どこに繋がっているの？

ケーブルが絡まっている・・・

エレガントな配線

手動による配線切替はケーブルの取り回しが煩雑になりがちです。ROME500では機器内部で配線切替を行うため、パッチパネル周りの配線が整然となります。またロボットが配線切替を行うためヒューマンエラーによる事故が防止できます。

配線管理の省力化

ROME500が現在の接続状態を管理しているため、接続状態をすぐに把握することができます。配線切替は権限を与えられたユーザのみが可能であり、また作業履歴を記録しているため、セキュリティ性が向上します。

リモート作業

データセンタ、ラボへ入室することなく、リモートで配線切替が可能です。また、遠方にある配線の切替が可能になり、コスト及び環境に優しいシステム運用が可能になります。



ROME500は、機器間の配線替えをロボットによる光ケーブルのつなぎ替えで実現したスイッチです。

MEMS方式、O-E-O方式と比べて挿入損失増加の影響が少なく、電源断時も接続状態を維持します。



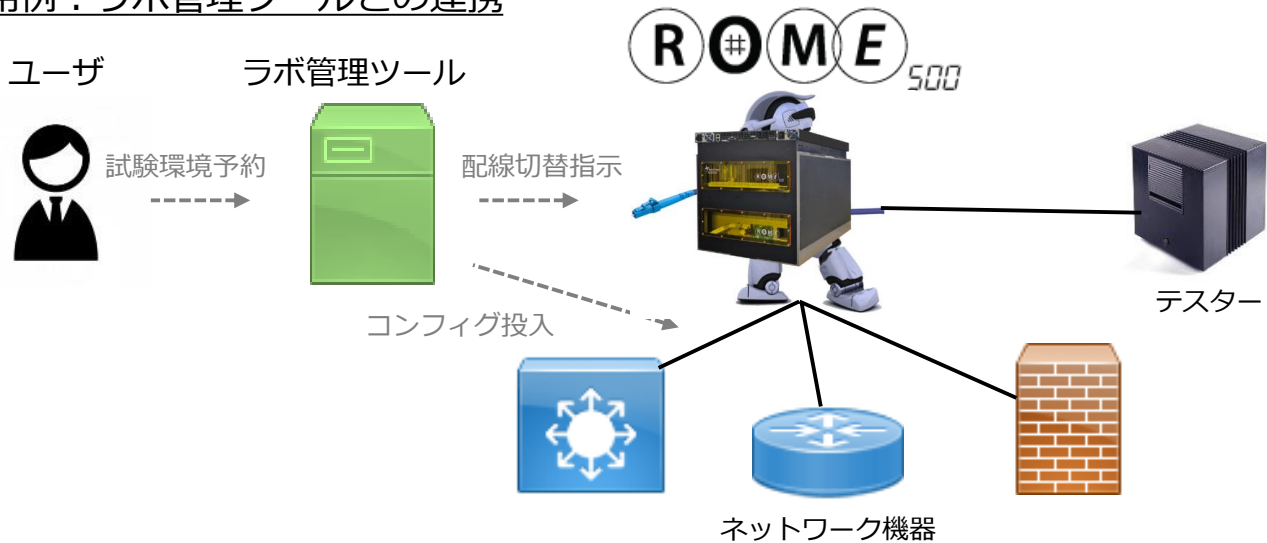
※ロボット形状はイメージです。

■ 仕様

サイズ	本体 : 442mm (W) x 443mm (H) x 791mm (D)、(95kg) LCU※ : 444mm (W) x 44mm (H) x 698.25mm (D)、(11kg)
電源 (1 電源入力当り)	LCU: 100-240V, 50/60Hz 4A or -48/-60 V, DC 8A 本体:LCUから供給
消費電力	55W (スタンバイ時), 155W (スイッチング動作時)
ポート数	512ポート (256接続)、但し、128接続の2set
ファイバ	Single Mode SMF-28e, Multi-Mode OM4
光損失量	挿入損失: 最大1.0dB (パッチパネル-パッチパネル間) 最大0.5dB (ROME単体)
反射減衰量	Single Mode : -50dB (UPC), -60dB (APC) Multi-Mode : -25dB
必要ラックサイズ	Main Chassis: 19インチ, 10RU LCU : 19インチ, 1RU
インターフェース	RJ45 (Ethernet)、DB9 (Console)
UI	CLI、GUI
セット構成	本体 (スイッチング機構)、LCU (コントロールユニット)、レール パッチパネル (光コネクタ種類選択可能)、配線切替アプリ (GUI)

※Logical Control Unit

応用例：ラボ管理ツールとの連携



TEL: 0422-39-8934 E-mail: rome@ml.ntt-at.co.jp

お問い合わせ先

http://keytech.ntt-at.co.jp/network/index_rome.html

※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。

201907F

NTTアドバンステクノロジー株式会社

グローバル事業本部 光プロダクトビジネスユニット

〒180-0012 東京都武蔵野市緑町3-9-11

NTT武蔵野研究開発センタ内